

募集班長の模型部屋（第11回）

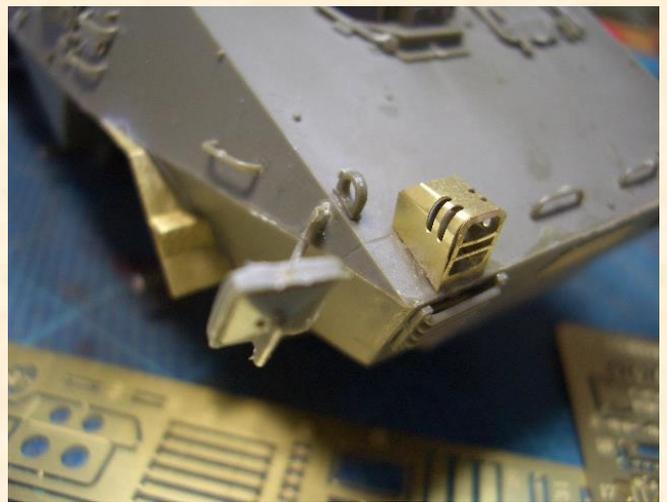
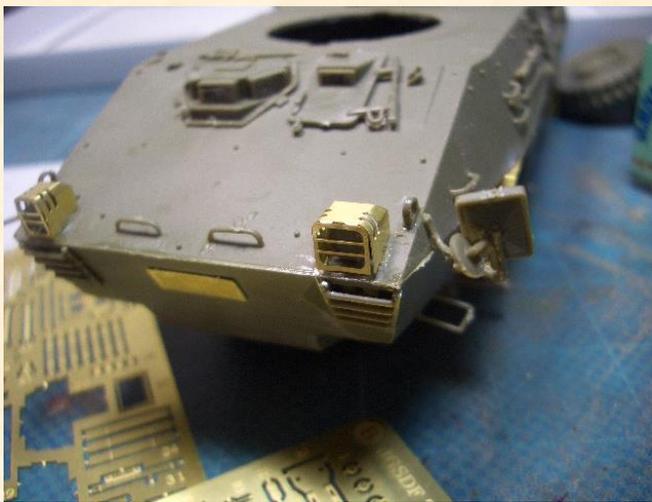
皆さんこんにちは。たまにメールで本コーナーに対する励ましの声をいただいています。とても感激し、そして感謝しています。本当にありがとうございます。そんな中、1通のファンレターが私に届きました。喜んで読んでみたら「僕の作った87式偵察警戒車（RCV）に色を塗ってください。エッチングパーツもつけてください。部隊マークのシールも貼ってください。」と、まさかの業務依頼が・・・翌日には私のデスクに無塗装のRCVが加茂所の広報官を通じて届きました。

確認したところ、加茂事務所によく通っている小学生の男の子でした。思い出しました。柏崎模型展にもわざわざ来てくれた熱烈な「模型部屋」ファンの男の子。分かったよ。特別におじさんが魂込めて色を塗ってあげるからね！というわけで今回は・・・

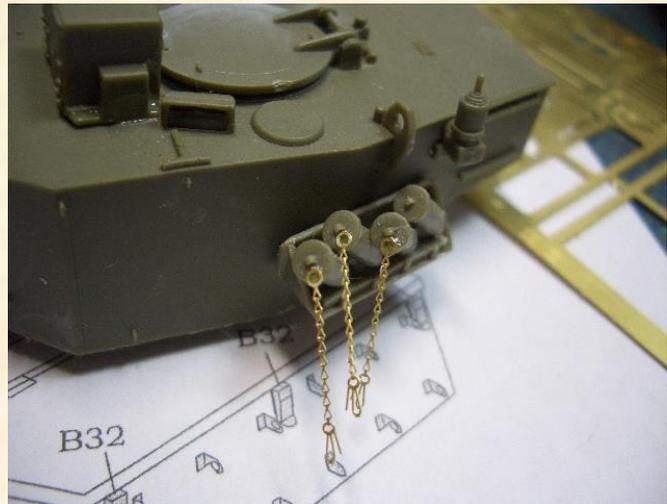
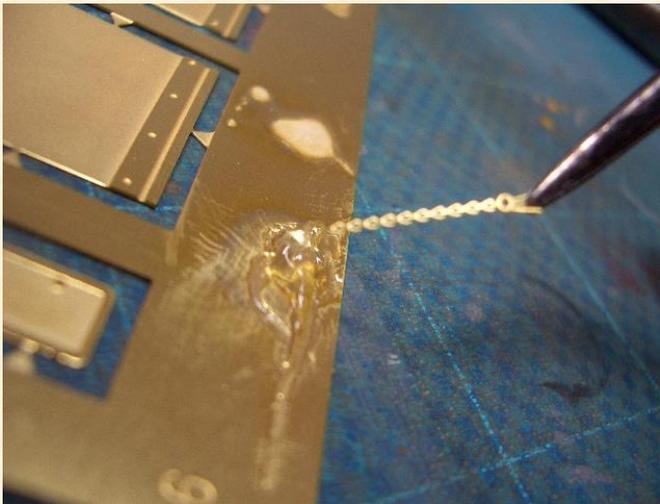
87式偵察警戒車（塗装編）です。



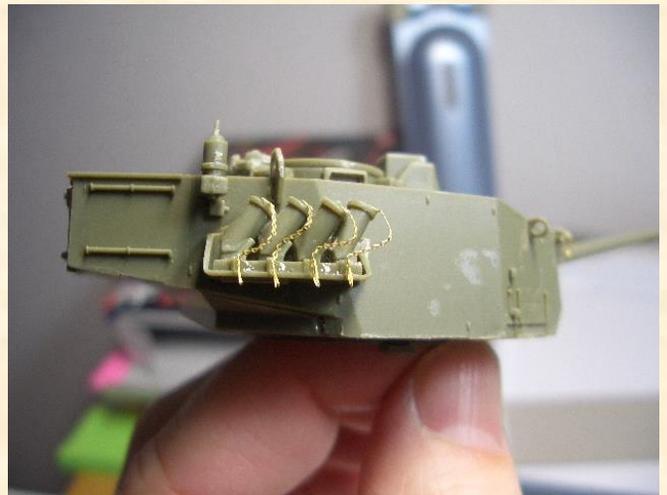
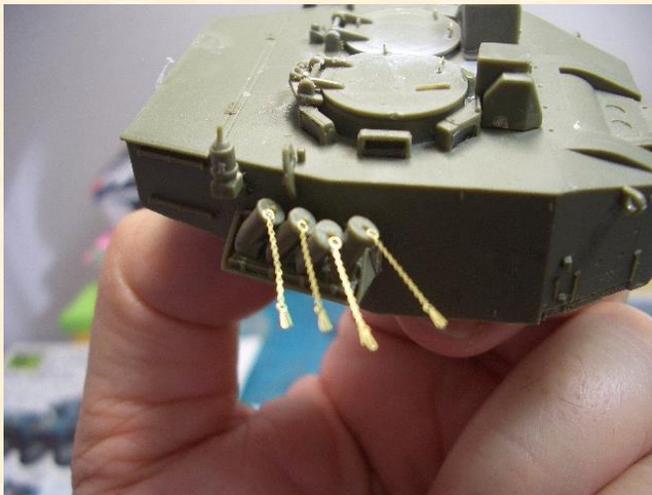
ピットロードのこのキット。かつて私の作例で紹介したとおり、レジンキャストキットをプラキットとして発売したもので、ライオンロア社のエッチングパーツが同封されています。小学生にこのエッチングパーツを取り付けるのはやはり難しいかと思います。正直言って、私では全部を取り付ける事が出来ません。すぐに落ちてしまうし、キットのモールドで十分なところもあるので・・・



このキットは製作途中でキットの部品をそのまま使用するか、エッチングパーツを使用するかを選択箇所があります。今回は、車体がある程度完成しているので、プラ部品を削り取って交換するのはかえって壊してしまいそうなので、現段階で交換できる箇所と取り付けられる場所にパーツの使用を限定しました。で、まずはライトガードとフェンダーを取り付けます。



発煙弾キャップ部のチェーンは、部品を切り出して、エッチングパーツの余白部分にゼリー瞬間接着剤を盛って、それに部品をトンとつけて・・・取り付け。



で、しっかり接着されたのを確認して、チェーンの部分をグニャッと曲げて、チェーンがたるんだ感じにしてもう一方を接着



リアフェンダーや、各種ハッチ、燃料携行缶バンドをエッチングパーツに交換しました。このくらいで勘弁してね。おじさんにはもう無理。



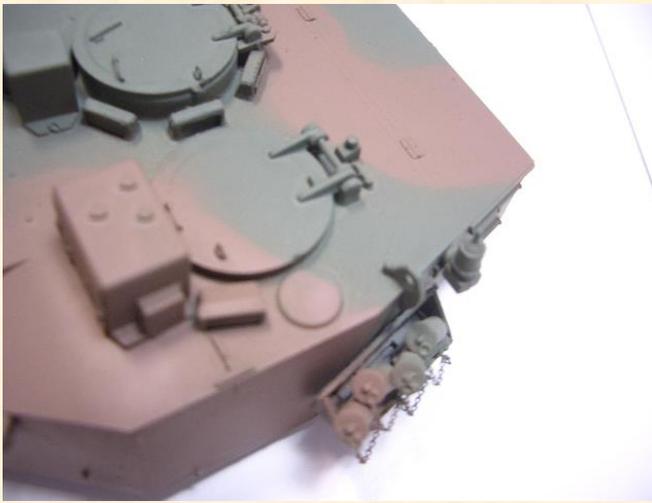
で、サフェイサーを吹き付けて、乾燥。そして、自衛隊濃緑色を吹き付けていきます。



迷彩色の境界線を自衛隊茶色で筆塗りして、その中を茶色で吹き付けます。この筆塗りの境界線は、濃い塗料のまま塗ると、乾燥した後に吹きつけ箇所と塗膜状態が異なり目立つ可能性があるなので、薄く溶いて塗ったほうが良いでしょう。



で、迷彩塗装が終わった状態。タイヤのホイールも塗るのを忘れずに。



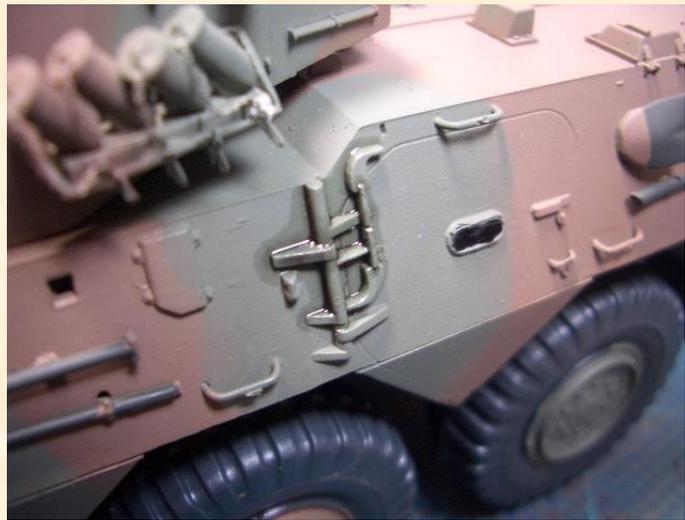
チェーンも目が埋まらないように塗装しましょう。タイヤは「タイヤブラック」で塗ります。



基本塗装が終わって、デカールを貼り付け。ライト部分の下地にシルバーを塗ります。後は細部の塗装に入ります。



土工具、燃料携行缶は自衛隊OD色、ウィンカーやストップライトをクリアオレンジ・レッドで塗ります。



で、スミ入れ塗料で、表面の凹部に黒を流し込みます。すると、ハッチや各装置が引き立ちます。



スミ入れ塗料が乾いたらエナメル溶剤を含ませた綿棒で余分なスミ塗料をふきとります。



マフラーから排気煙跡をパステルで表現し、各ハッチのガラス部をブラックで塗りつぶします。



で、大体こんな感じで完成ですが、ウェザリングは、男の子が汚いと思われるとイヤなので、あえて施しませんでした。



こんな感じでどうかな。加茂の男の子。これで勘弁して頂戴ね。
なお今後、このような製作・塗装依頼は受け付けておりませんので、ご了承ください。
といったところで、塗装編の紹介を終わりにいたします。また、次回もお付き合いください。